

**大河ドラマ『いだてん』主人公
 金栗四三青春の地・文京区
 金栗四三青春の地プロジェクト発表会**

1/23
 直撃取材



大勢のお客さんがつめかけました!



玉名市の蔵原(くらはら)市長のごあいさつ
 ©2010熊本県 くまモン 協力 銀座熊本館 取材協力:熊本県・玉名(たまな)市
 (左から 熊本県しあわせ部長・くまモン、玉名市マスコット・タマにゃん、蔵原(くらはら)玉名市長)

オリンピック・パラリンピック
こども新聞

第6号
 平成31年(2019)
3/31

2面
 スポーツを広げた
 金栗四三

3面
 こども新聞
 活動報告

かたまち4・3 km
 1月から始まった大河ドラマ『いだてん』のトークセッションを取材しました。私がすごいと思ったのは、金栗四三(かなぐりし)さんがかたまち4・3 kmの道をいつも走って通学していた事です。おうちまで8・6 kmです。8・6 kmといえは私にとっては歩くのさ大変なきよりです。そんな道を毎日走るなんておどろきです。
 トークセッションに来ていた谷口浩美さんは「マラソンはにげられないスポーツだ」と話していました。また、谷口さんにとってマラソンはなにが?という質問に「たわいもない事をずっと続けるのもマラソンだと思えます」と言っていました。金栗四三さんも冷水浴という日課があった(宝駐天(いたてん))
 足のはやい人。たいそう足がはやい。
 (小4/NM記者)

山下りのスペシャリストも愛用『ハリマヤシューズ!』
谷口さんとマラソン
 谷口浩美さんに「ちひろみさんが、オリンピックのこどもをたくさん話してくれました。谷口さんはハルセロナオリンピック(アトランタオリンピック)に出場し、バレルセロナオリンピックでは、8位に入賞しました。また、はこね駅伝では3年間6区を走り、山下りのスペシャリストと呼ばれました。
 谷口さんは駅伝のことを振り返り、「僕が走った次の年からテレビ放送が始まったんですよ...と会場をわかせました。また、昔は駅伝のスタートが寒かったとあって、体を温める工夫をしたとも話を聞きました。
 谷口さんが愛用したハリマヤ製シューズ
 ハルセロナオリンピックの名言「けいちゃった!」については、「国民は知らない」と思っていたこと、「オリンピックの選手村の料理はバイキングなので食すきでした。うんち話してくれました。オリンピックは何のためにあるかという質問については「力(ちから)を出す」と話してくれ、出るとは価値がある」ということも聞いていました。
 2020年には東京で「力(ちから)」が見られると思うととても楽しみです。
 (小6/YO記者)



関係する施設がたくさんあるそうです。この新聞を読んでいる人たちはぜひ玉名市に行ってみてほしいです。イベントではわからないような魅力があると思います。また文京区のスタンプラリーや町歩きなどに参加してみてください。
 (小4/YT記者)

走って登校した道
 1月28日に「金栗四三青春の地・文京区プロジェクト発表会」が、文京区シビックセンター地下2階区民ひろばで行われました。金栗さんが走っておどろく登校した道をしようかいします。
 ルートの説明をします。東京高等師範(しほ)学校のあった占春園(せんしゅんえん)付近から、お茶の水の寄宿舍があった湯島聖堂(ゆしませいどう)付近までが金栗さんの通学路といわれていたルートです。金栗さんは、みんなが奇宿舍を出た20分後に出たのに、みんなにおいつきさらにみんなをぬかしていきなすです。
 このルート(金栗四三通学路)コースの他に、坂道健脚(けんきゃく)コース、ゆったり健脚コース(走るわけではありません)さん(など、金栗さんゆかりのある場所をめぐるコースもある)で、みなさんもぜひ体験してみてください。はいかがでしょうか。
 (小5/MO記者)

今現在「いだてん」という大河ドラマが放送されていて、そのぶたいとなる熊本県玉名市(たまな)の市長さんに「玉名市は今いだてんのぶたい」となっています。玉名市はどのように盛り上げられていますか?という質問をしました。文京区でも今、金栗さんについても深く知ることができ、様々なイベントが行われています。それと同様に、玉名市には、金栗四三さんを知り、思い出すために、金栗さんに関係する施設がたくさんあるそうです。この新聞を読んでいる人たちはぜひ玉名市に行ってみてほしいです。イベントではわからないような魅力があると思います。また文京区のスタンプラリーや町歩きなどに参加してみてください。
 (小4/YT記者)



谷口さんをはさんと成澤(なりさわ)文京区長(左)と蔵原(くらはら)玉名市長(右)

スポーツを広げた金栗四三



取材協力：熊本県・玉名(たまな)市



1891年、春富村(はるどみむら)に生まれた四三が、1912年に第5回オリンピックストックホルム大会に出場したのは20才の時です。この後、アントワープとパリの大会にも出場しました。現役引退後は、スポーツの振興(しんこう)に尽力(じんりきよ)しました。海外では女性もスポーツを楽しんでいたのを見た四三は、「女子にもスポーツ教育が必要」と考え、女子テニス大会などを開催して女子体育に力を入れました。四三さんは体育のために走り続けた人生だと思います。(小5/S・K記者)

昨年12月25日、KITEE(きって)丸の内地下1階、東京シティアイパフォーマンスゾーンに「日本マラソンの父金栗四三のふるさと展」の取材に行ってきました！
「スポーツの普及(ふきゅう)に尽力(じんりきよ)」
 ついで、2カ月前、市に寄贈(きそく)された金栗さんの家から、なんと80枚もの写真が見つかったそうです。その中には、金栗さんが女性と一緒に走っていたり、障がい者に合わせたスポーツを行っていたりする場面が映っているのがありました。当時

スウェーデンとの交流も！
 ストックホルム大会のとき、スウェーデンのペトレ家に助けてもらった四三。そのお孫さんの蔵士義明(くらよしあき)さんが2014年7月14日、ストックホルムにて、100年前と同じコースを走るマラソン大会と、除幕式(じよまくしき)がありました。(小5/S・K記者)

ランニングシューズの元祖の改良
 当時の日本は運動靴が普及していません。金栗四三の走りを支えていたのは足袋(たび)でした。金栗さんは、ここ文京区にある足袋店「播磨屋(はりまや)」で特製の足袋を作ってもらい、ストックホルムオリンピックに出場しました。
 「自分のはいいている足袋はなかなか外国人選手はシューズをはいいてくのを開けました。」
 金栗さんは「視覚障がい者も走れるように」と、50m、スタートからゴールまでひもをはって走れるようにしたそうです。このアイデアは金栗さんならではのものだと思います。(小5/MO記者)

ぶちトリビア
 日本マラソンの父と言われる金栗さんは何センチの足袋をマラソンに取り組んでいたのでしょうか。実際には、足袋のサイズは25cmほどであったようです。
 また、女子体育の功績(こうせき)についてはもちろんですが、教師としても生徒たちに大変人気の先生でした。教科は地理(ちり)・欧州(おうしゅう)への旅が難しい時代に、オリンピック参加という経験をまじえて語る金栗さんの授業は、実感がこもっており、大変魅力のある授業だったそうです。

ふるさと玉名から
 玉名市では当時の播磨屋(はりまや)でいられていた金栗足袋をモチーフとして、「ふるさと納税(なつせ)のうせいの返礼品(へんれいひん)で」紹介されています。



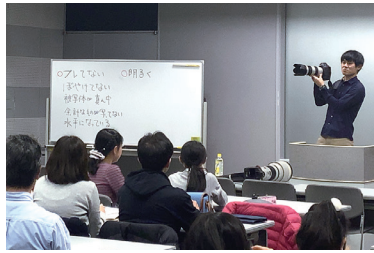
金栗四三のエピソードについて取材！



玉名市のランニング足袋(たび)

編集サポーターが紹介する オリンピック・パラリンピック こども新聞の魅力

研修



オリンピック・パラリンピックこども新聞では、取材し記事を書くだけではなく、年に2、3回こども記者向けの研修を行っています。今回は、プロのカメラマンから写真の撮り方を学ぶ研修を行いました。こども記者たちは大事なことはメモを取り、わからないことはすぐに質問するなど、とても真剣（しんけん）に取り組んでいました。カメラの使

い方から基本姿勢、細かいテクニックなども学ぶことができ、カメラワークの幅が広がりました。プロのカメラマンから直接教えてもらえる機会はなかなかないので、とても貴重な体験になったと思います。

こども記者たちも自分で設定を変えてみたり、撮りたい写真に合う明るさやシャッタースピードを探してみたりと、カメラに夢中になっていました。



写真は文字で書くより多くのことを読者に伝えられると教わったことも記者たちはどうしたらこの状況をよりわかりやすく読者に伝えられるか自分で考えて工夫できるようになり、これからの取材に活かせる良い研修になったと思います。

取材



選手への囲み取材を実施（じっし）

こども新聞では、様々なところに取材に行きます。最近では、肥後細川庭園の「秋の紅葉ライトアップ」ひごあかり」を取材し大河ドラマ「いだてん」の主人公金栗四三について学び記事を書きました。他にも視覚障害者柔道の大会を取材し、直接選手の方からお話を伺う機会や実際にパラリンピック競技を体験する機会もありました。



編集会議ではトップページをめくり、チームごとにアピール！

私は、編集サポーターとして、こども記者たちと一緒に取材に行き、記事を書くサポートをしています。質問の幅が広がった、記事を書くスピード、質が上がった、こども記者たちの成長を日々実感できる点にもやりがいを感じています。

2020年オリンピック・パラリンピックの内容を文京区の区報として区内に発信し、興味をもってもらうというのが一番の目的ではありますが、こども記者のみならず、取材を通して、学び、体験し、理解した内容を自分で考えながら工夫して記事にするというのは、自分自身の成長にもつながりますし、良い経験になると思います。

時にはこども記者からの難しい質問に戸惑（とまど）うこともありますが、完成した新聞に目を通したときには、達成感がありましたし、自分たちが行ってきた活動が形になった喜びは私にとって忘れられない経験になりました。取材で初めて知ることもたくさんあり、私自身もオリンピック・パラリンピックについて改めて考え、理解を深めることができました。（大4/NK編集サポーター）

こども記者&編集サポーター募集

こども記者と編集サポーターを募集します。文京区オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こども記者となって取材や写真撮影に取り組んでいます。文京区の小中学生に向けて2020年の東京オリンピック・パラリンピックの内容や競技の魅力を伝え、もっと興味をもってもらえるよう、日々活動に励（ほげ）んでいます。取材の仕方、質問のコツ、記事の書き方、写真の撮り方など研修では様々なことを学べますし、取材では研修、学んだことを活かして質問をしたり、写真を撮ったり、自分なりに工夫しながら記事を書いていきます。

文京区オリンピック・パラリンピックこども新聞は、年3回の発行を予定していて、新聞折込みのほか、施設にも配布されます。是非お申込みください。

プロカメラマン直伝！ 写真を撮るときのポイント

- 何を撮りたいか意識する
- 写真のテーマを決める
- 必要なものをフレーム内に欠けないように収める
- 大きさや角度に気を付ける
- ピントを合わせ、ブレないようにシャッターの半押し→押し込みの2段階で撮る
- シャッタースピードを変えて明るさを調節する
- 室内で撮影をするときはISO感度の数値を高くする



プロ直伝のワンポイントアドバイス



新競技サーフィン取材で遠征（えんせい）



編集作業の様子

こども記者 & 編集サポーターの申し込み

申し込みは登録申込書を郵送又は直接ご提出ください

登録申込書は4月1日より区立図書館及びスポーツ振興課（シビックセンター 17階北側）にて配布、又は区のホームページよりダウンロードできます。
※最終申込締切日は12月27日（金）必着
※登録証の発行には、申込書受領後3週間程度を予定しております。
※申込受付開始：4月1日より



- 【こども記者】
- ①必ず保護者の方の同意の上、お申し込みください。
 - ②取材にかかる交通費は、区が負担しますが編集会議等による区役所までの交通費は個人負担となります。
- 【編集サポーター】
- ①18歳未満の方は、必ず保護者の方の同意の上、お申し込みください。
 - ②取材サポート時の交通費相当の謝礼をお支払いします。編集会議等による区役所までの交通費は個人負担となります。

こども記者募集

新聞をつくる記者やカメラマンになってみませんか

対象 区内在住・在学の小学4年生から中学3年生まで（申込基準日：4月1日時点）

参加 無料 その他、取材にかかる交通費は区が負担します

編集サポーター募集

こども記者のサポート、編集のサポートのボランティアをしてみませんか

対象 満15歳以上、25歳未満の区内在住・在勤・在学者（申込基準日：4月1日時点）

謝礼 交通費相当

| 活動の流れ | こども記者の活動 | 編集サポーターの活動 |
|-------|--------------------------------------|----------------------|
| 学ぶ | 新聞の作り方を学びます | |
| 編集会議 | どんな新聞を作りたいか、どんな記事を掲載したいかを考えます | 取材に同行し、こども記者をサポートします |
| 取材 | 競技やアスリートなどあちこちに取材に行きます | 記事作成をサポートします |
| 記事作成 | 取材した内容を記事にします | 記事を編集します |
| 編集 | 写真を選んだり位置などを考えます | 記事を編集します |
| 発行 | 区報ぶんきょう特集号「オリンピック・パラリンピックこども新聞」の完成です | |

ドイツホストタウン情報

国際交流員 レポート

シュナイダー・パトリック

皆さん、こんにちは！

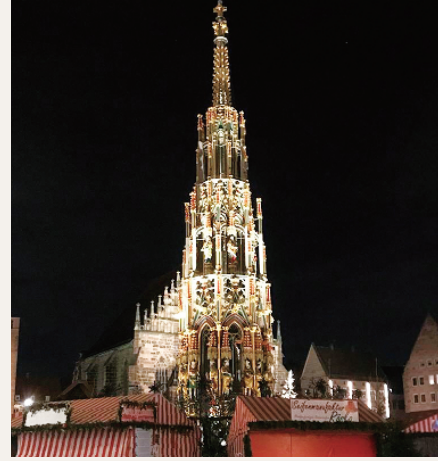
2018年の8月から文京区オリンピック・パラリンピック担当の国際交流員としてドイツのホストタウン事業(じぎょう)を中心に取り組んでいるシュナイダー・パトリックと申します。

10年前の私を振り返ると、東京で就職(しゅうしょく)することになるとはまったく思いませんでした。

ドイツのニュルンベルク市に生まれ育った私は、高校を卒業後(こうがくをそと)社会福祉(しゃかいふくし)に関係のボランティアとして1年間大阪にある重度の障がいがある方々の施設(しせつ)で介助者(かいじょしゃ)として働き、さらに同施設で働きながら留学生として2年間を関西で過ごしました。ドイツに戻った後、日本学の修士課程(しゅうしこう)を卒業し、東京に行(い)くことになりました。



パトリックです！



願いがかなうという言い伝えのスポット「美しの泉(いずみ)」

現在、文京区のホストタウン事業として、ドイツ語講座やドイツの文化を知ってもらう講座やクリスマスマーケットの企画などを行っています。

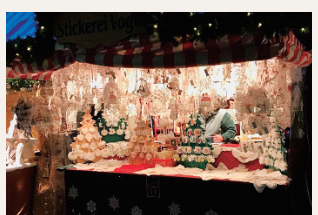
クリスマスマーケット

ヨーロッパではクリスマスが非常に大切な行事なので、私は去年の12月に帰国しました。クリスマスは宗教的な意味も深いですが、私にとって、宗教よりドイツの様々な場所に住んでいる家族との年に1度の再会の機会なのです。

ニュルンベルクはとても中世的な街で、ニュルンベルク城と伝統的な建物の他、毎年12月に世界中どこでも有名なクリスマスマーケットがあります。ここでは、伝統的な飲み物と食べ物、手作りのもの、クリスマス飾りなどを販売するテントが並んでいます。毎年約200万のお客様が訪れるニュルンベルククリス



ニュルンベルクのクリスマスマーケット



さまざまな品を売るテントのお店

それはイエスキリストの誕生の場面を表す模型(もけい)もけい)を展示するものです。そして、その生まれたばかりのイエスキリストはキリストキントと呼ばれていますが一般的にはプロンドの髪(かみ)を持っている女性の天使の姿で想像(さぐ)されています。

文京区では今年(ことし)の12月(しゅうげつ)予定にクリスマスマーケットを開催(こんかい)します。ここではドイツの伝統的な飲食(おんじ)だけではなく、手作物(てぶつ)やクリスマス飾り(かざり)の店(みせ)も出店(しゅてん)します。

「文の京・ドイツ文化講座」開講決定！ 4月20日(土)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文京区はドイツのホストタウンとして、同国との交流を深めるべく、様々な取り組みを行っています。

4月から、スポーツ・音楽・食をはじめとした多様なテーマで、ドイツ文化を紹介するとともに、日本とドイツの特徴や違いなどを学べる講座を開講いたします。ドイツに深い見識を持つ方々や国際交流員(CIR)を講師とし、興味関心のある講座にお気軽に参加できます。

第1回目の4月は、その基調講演として、ドイツ連邦共和国大使館よりホーボルト氏を講師にお迎えし、「ドイツは〇〇!」ドイツの実情を多面的に紹介～と題し、日独の今について様々な角度からお話しいたします。

- 【開催日時】4月20日(土)午後2時から午後4時まで
 - 【会場】拓殖大学文京キャンパス
 - 【講師】ホーボルト幸夫氏(ドイツ連邦共和国大使館文化担当)
 - 【対象】文京区内在住・在勤・在学者
 - 【定員】100人(超えた場合は抽選)
 - 【受講料】500円
 - 【申込期間】3月15日(金)から往復はがき又はメール(件名に「ドイツ文化講座」申込と記載)に住所(※在勤者は勤務先名・所在地、在学者は学校名も記載)・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号・メールアドレスと返信用に先を明記し、〒112-8555 文京区スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック担当へご応募ください。
☎03-5803-1309 メール: b-dondon@city.bunkyo.lg.jp
 - 【締切】4月8日(月)必着
- ※詳しくは区のホームページをご覧ください。
URL: <https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/olympic/bunkyoplan/hosttown.html>

Hallo!
Tschüss

ホーボルト幸夫氏

文京区ホームページ

「文の京めぐり」 配付のお知らせ

いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まで500日を切りました。大会ポスターや都市ボランティアの面接や説明会をはじめ、大会に向けた動きが見えてまいりました。1年前となる今年は各競技で様々なフレ大会なども開催されます。そこで、文京区オリンピック・パラリンピック担当では、区民の皆様により多くの競技や大会について関心を持っていただくために、「文の京めぐり」(啓発冊子)を制作いたしました。カレンダー機能には国内外で開催される主要競技日程を掲載するほか、トップアスリートたちの心に残る言葉のご紹介、区で実施するスポーツや文化・観光プログラムの日程を掲載いたしました。

また、東京2020大会で実施される55競技の会場紹介やカウントダウンも掲載しております。大会までのご自身のレガシーづくりに向けて、活用ください。

3月31日文京区くらまのりの会場内における「オリンピック・パラリンピックPRブース」より配付を開始いたします。4月1日からはスポーツ振興課窓口(開庁時間内)にて配付いたします。

(※なくなり次第終了)

